

# 東京スカイツリータウン

## 建物諸元

|         |  |
|---------|--|
| 所在      | 東京都墨田区押上一丁目1番2号                            |
| 主用途     | 電波塔、商業施設、事務所                               |
| 敷地面積    | 36,844 m <sup>2</sup>                      |
| 延床面積    | 227,520 m <sup>2</sup>                     |
| 階数      | 地下3階、地上31階                                 |
| 竣工年月    | 2012年2月                                    |
| 事業者・所有者 | 東武鉄道株式会社、東武タワースカイツリー株式会社                   |
| 設計会社    | 株式会社日建設計                                   |
| 施工会社    | 東街区：大林・株木・東武建設共同企業体<br>西街区：大成・東武谷内田建設共同企業体 |
| 管理会社    | 東武タウンソラマチ株式会社                              |
| URL     | http://www.tokyo-skytreetown.jp            |
| テナント数   | 約340社(特定テナント2社)                            |

## 主な評価項目

### I 一般管理事項

- ・毎月 CO<sub>2</sub> 削減推進会議を開催し、積極的な改善策の立案・実施及び効果検証を実行
- ・徹底した計測計量によるコミッショニングを実施

### II 建物、設備性能に関する事項

- ・省 CO<sub>2</sub> 技術の導入  
VAV・VWV、大温度差システム、LED 照明、昼光利用照明、太陽光発電、雨水利用、節水器具、屋上緑化など

### III 運用に関する事項

- ・空調時間、室内温度を考慮した的確な空調設備運用
- ・照度点灯時間、照度条件の適正化
- ・きめ細かなメンテナンスの実施

## 事業所の概要

- ・東京スカイツリータウン(以下、「本施設」という)は、634mという世界一の高さの電波塔である東京スカイツリーを擁する大規模開発である。
- ・本施設は、開発の理念として「水と緑と省 CO<sub>2</sub> の情報発信ステーション」を掲げ、商業施設主体の開発でありながら、テナントも巻き込んだ街ぐるみの省 CO<sub>2</sub> 推進を目標とした。
- ・2012年5月のオープン以来、開発理念を実現させるために CO<sub>2</sub> 削減推進会議を毎月開催し、本施設の環境負荷削減に向けたエネルギーマネジメント活動に取り組み、CO<sub>2</sub> 排出量の削減などの成果を挙げている。

## 事業所外観写真



## 事業所における環境負荷低減の取組

1. 建物の省 CO<sub>2</sub> 技術と安全安心まちづくりとの融合
  - ・高い断熱・遮光性能(東京スカイツリーイーストタワー)
  - ・共用部を中心としたLED採用
  - ・太陽光発電
  - ・屋根雨水の貯留と有効利用
  - ・地域に開かれた「緑の丘」の創造
2. 徹底した計測計量・データ収集分析
  - ・全店舗・オフィステナントのエネルギー計量
  - ・クラウドを利用したデータ収集システム
  - ・テナントへのエネルギー見える化
3. 建物とDHCの連携による街ぐるみのエネルギーマネジメント
  - ・エネルギー管理体制の構築
  - ・CO<sub>2</sub> 削減推進会議によるエネルギーマネジメントPDCAサイクルの実施
  - ・店舗の従量料金制度の導入

## 取組のイメージ図

